

令和元年度

鳥山北小学校 校内研究

3年分科会 提案授業

教科：社会

6月19日（水）

授業者：山家 哲雄

1 研究主題

（1）研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM（カリキュラム・マネジメント）スクール

これからの中学校を生き抜く児童の育成

～社会科を軸としたカリキュラムマネジメントを通して～

（2）目指す児童像

	主体的な力	かかわる力	考える力
低学年			
中学年	自らすすんで学び、生活に生かそうとする子。	相手の話を最後まで聞き、友達のよさを認め合う子。	友達の意見を取り入れ、考えを深める子。
高学年	自らすすんで学び、生活に生かそうとする子。	相手の話を最後まで聞き、友達のよさを認め合う子。	友達の意見を取り入れ、考えを深める子。
専科	学習を他教科・他領域に生かし、すすんで活動にかかわる子。	表現のよさや違いを、認め合う子。	さらにより表現はないか探究を続ける子。

2 協議会で話し合うこと

（1）GTの活用の仕方について

（2）新学習指導要領における新設指導事項「区役所の働きについて触れる」指導について

（3）児童が主体的で対話的で深い学びに向かっている姿について

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！ 青：成果／黄色：質問／ピンク：

「わたしたちの世田谷区の様子」(8時間)

1 小単元の目標

- 世田谷区の様子について、東京都における区の位置、地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目し、観察・調査したり地図などの資料で調べたり、白地図にまとめたりして身近な地域や区の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域や自分たちの区の様子を大まかに理解できるようにする。
- 区の様子について、学習問題を主体的に調べ解決しようとする態度や地域社会に対する愛情を養う。

2 評価規準

ア 社会的事象についての知識・技能	イ 社会的事象についての思考・判断・表現	ウ 社会的事象に主体的に取り組む態度
①東京都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを基に、身近な地域やわたした達の区の様子について理解している。 ②観察・調査したり地図や写真などの資料で調べたりして必要な情報を集め、四方位や主な地図記号などを用いて白地図などにまとめている。	①区の様子から問い合わせを見いだし、土地利用を地形的な条件や社会的な条件と関連付けたり、分布の様子を相互に比較したりして、区の様子は場所によって違いがあることを、文章で記述したり説明したり話し合ったりしている。 ②区役所の場所と働きについて説明したり、話し合ったりしている。	①区の様子について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題・学習計画を追究・解決しようとしている。

3 小単元について

- ・小学校学習指導要領解説社会編第3学年の目標〔P97～100〕及び内容(2)ア(ウ)〔P106～113〕を受けて設定した。
- ・本単元は3年生にとって初めて取り組む、問題解決的な学習といえる。前小単元では学校の周りを学習したが、その単元とのつながりを生かしながら、空間的な見方を世田谷区全体に広げて、資質・能力を養っていく。
- ・これから社会を生き抜く児童を育成するために、人的環境、物的環境を整え、カリキュラムをより充実したものにしていく。児童が調べる際に時間や資料、人を充分に活用して満足感を得られる学習を展開したい。

4 カリマネ Point (カリマネ的鳥北プラン参照)

縦 カリ	既習	①わたしたちの町 「鳥山の様子」
	同学年	①市の様子のうつりかわり 「世田谷区のうつりかわり」
	他学年	第4学年:わたしたちの東京都 「東京都を調べよう」 自然災害 「風水害からくらしを守る」 第5学年:わたしたちのくらしと国土 「日本は世界のどこにある?」 第6学年:暮らしの中の政治 「わたしたちの暮らしを支える政治」
横 カリ	生活科	第2学年:まちたんけん
	日本語	第3学年:世田谷区の地名の由来 郷土カルタ
	理科	第3学年:かげと太陽
	総合	第3学年:共に生きる 第4学年:地域について考えよう
	音楽	第4学年:ボイスアンサンブルを作ろう

5 授業デザイン図

3年—1—② 「世田谷区の様子」 【8時間】

1—① 烏山の様子 【8時間】



6 一単位時間の指導 第1時 (全8時間)

5月30日(木) 3校時

(1) ねらい

- ・世田谷区の様子について関心をもち、学習問題をつくる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	10分	<p>【一斉】</p> <p>○前小单元をふりかえり、烏山北小学校の周りはどのような様子だったかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北は寺町通り。お寺がたくさん並んでいた。 ・南は商店街。先には駅があった。 <p>T「近くには甲州街道がありますが、その先はどのようにになっているのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲州街道は世田谷区だけでもこんなに長く続いているのか。 <p>T「世田谷区はどうなっているのかな。」</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>■前小单元の絵地図</p> <p>★地図をのばしていった先を想像させるように、ICTを活用する。</p>
		<p>めあて 世田谷区について知りたいことを出し合い、学習問題をつくろう。</p>	
調べ・考える	2分	<p>【ペア】 → 【一斉】</p> <p>○世田谷区について予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・烏山にも多いからお店が多い。 ・烏山は住宅街だから、世田谷区も住宅が多いのではないか。 ・商店街みたいなところがいくつかあるのではないか。 	<p>■わたしたちの世田谷区の地図</p>
	10分	<p>【一斉】</p> <p>○5枚の資料(写真)を見て、場所の特徴をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下北沢の商店街は千歳烏山にている。 ・環状八号線道路はとても広い道路だ。 ・多摩川河川敷は烏山の近くにはないな。 ・九品仏のお寺の雰囲気が寺町に似ている。 ・等々力渓谷、こんなところ、本当に世田谷なの。 	<p>■わたしたちの世田谷区の地図</p> <p>■環八</p> <p>■多摩川河川敷(二子玉)</p> <p>■下北沢駅</p> <p>■等々力渓谷</p> <p>■九品仏</p> <p>★事象に近づき、観察させるようにする。</p>
	10分	<p>【個人】 → 【一斉】</p> <p>○写真を見て考えたことを共有し、疑問を集め、学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川や等々力渓谷は世田谷ではないと思った。世田谷にはほかにどんなところがあるのか調べてみたい。 ・下北沢と等々力渓谷の写真が違っていて、同じ区だけは思えなかった。知らないことがたくさんあったので調べてみたい。 ・世田谷にはほかにもお寺があるのかな。 <p>○疑問を集めていくとどのような問題ができますか。</p>	<p>★疑問をキーワードに集約し、疑問を集めて学習問題を作るようする。</p> <p>○身近な地域や区の様子について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追及・解決しようとしている。</p> <p>【態度-①】(ノート)</p>
まとめる	10分	<p>【一斉】</p> <p>○本時の位置づけを確認し、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は世田谷区の地図や写真を見て、知りたいことがたくさん出てきた。学習問題を調べて、世田谷博士になりたい。 ・学習問題ができたから次は学習計画を考えたい。 	<p>★本時が単元の中のどの位置なのかを確認することにより、自ら学ぶ意識を高めさせようとする。</p>

(1) ねらい

- ・学習問題の予想を考え、学習計画を立てる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	1 5分	<p>【ペア】→【一斉】</p> <p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥山の様子から世田谷区の様子を予想した。 ・世田谷区の地図や写真から世田谷区についての学習問題を作った。 <p>○本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて 学習問題の予想を考え、調べるべきことを出し、学習計画を作ろう。</p> <p>○学習問題を確認する。</p> <p>学習問題</p> <p>世田谷区は、どのような様子なのだろう。</p>	■学習問題掲示
予想する	2 15分	<p>【個人】→【ペア】→【班】</p> <p>○学習問題に関する写真を見て、予想する。</p> <p>①世田谷区は場所によって高さが違うのではないか。 ・世田谷区は大きな道路が南北に、電車が東西に通っているのではないか。 ・場所によって様子が違うのでは土地の利用の仕方がちがうからではないか。 ・公共施設がいろいろなどころにあるのは住む人に必要なことをするからではないか。 ・お寺や大仏などの建物はいくつかの場所にあるのではないか。</p>	<p>★調べるべきことが児童からでてくるような写真資料を用いて、思考を誘導する。</p> <p>■わたしたちの世田谷区の地図 ■環八 ■多摩川河川敷 (二子玉) ■下北沢駅 ■等々力渓谷 ■九品仏 ■寺町</p>
計画する	3 20分	<p>【班】→【一斉】</p> <p>①世田谷区は場所によって土地の利用の仕方がちがうのは高さに合わせているからではないか。 →第3時 世田谷区の地形・土地利用の様子</p> <p>②世田谷区は大きな道路が南北に、電車が東西に通っているのではないか。 →第4時 世田谷区の交通</p> <p>③公共施設は住む人にとって必要なことをするところではないか。 →第5時 公共施設や区役所の働き</p> <p>⑤お寺や大仏などの建物はいくつかの場所にあるのではないか。 →第6時 世田谷区の古くから残る建造物</p>	<p>★児童の学習問題に対する予想と学習計画をリンクさせ、主体的な学びができるようにする。</p> <p>◎関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題・学習計画を追究・解決しようとしている。 【態度-①】(ノート)</p>
まとめる	4 5分	<p>○単元全体での本時の位置づけを確認し、学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画ができたから、一つずつ学習し、世田谷区の様子について調べていきたい。 ・次は土地の高さや川の流れについて調べ、地形を考えたい。 	★本時が単元の中のどの位置なのかを確認させることにより、自ら学ぶ意識を高めさせるようにする。

(1) ねらい

- ・地図や写真資料を読み取って世田谷区の地形の様子を調べ、その使われ方について理解する。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を解決するために調べるべきことを考えた。 ・今日は地形と土地利用について学んでいく。 ○世田谷区の地形図を見て、めあてをつかむ【ペア】 <ul style="list-style-type: none"> ・場所によって使われ方が違う。 ・同じ世田谷区でもどのようにちがうのかな。 <p>めあて 世田谷区の地形の様子はどのようになっていて、どう使われているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■学習問題掲示
調べ・考える	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてに対して予想を立てる【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・土地の高さが違うのではないか。 ・土地が高いとか、低いとかでその土地の使われ方が違うのではないか。 ○「高さ」と「土地利用」の意味を知り、地図や写真で調べる。【個別】 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅がたくさんある。 ・駅の近くにはお店がたくさんある。 ・果物をつくっている畑がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■わたしたちの世田谷区の地図 <p>★調べ方を伝えたり、物的環境を整えたりして、自分が調べたいことを進んで調べられるようにする。=カリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地図記号 ■土地利用の世田谷区の地図
	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○調べて分かったことをつなげて、世田谷区の地形と土地利用について考える【班】 <p>T「調べたことをまとめてみると、地形と土地利用についてわかることはありますか。ホワイトボードにまとめてみましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区はそんなに高さが変わらない。 ・野毛山にはぶどう畑が広がっている。 ・多摩川の近くは土地が低くなっていて、畑が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区の様子から土地利用を地形的な条件や社会的な条件と関連づけて考え、場所によって違うことを文章で表している。【思考・判断・表現-①】(ノート)
まとめる	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめを書く。【ペア】→【個人】→【一斉】 <p>まとめ 世田谷区は多摩川という大きな川が流れている、高さはそんなに変わらないが、場所によってお店があったり、家がたくさんあったり、公園が多かったりといろいろな利用の仕方がある。</p> ○今の学びの位置を確認し、ふりかえりを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・今日は世田谷区の土地利用について学んだ。次回は交通についてだから、よく調べたい。 	<p>★発達段階も含め、一人で考えたり、まとめたりすることが難しい児童も多いのでペアで今日の学びをつぶやいてからまとめるようにさせる。</p> <p>★本時が単元の中のどの位置なのかを確認することにより、自ら学ぶ意識を高めさせるようにする。</p>

(1) ねらい

- ・地図や写真資料を読み取って世田谷区の交通の様子を調べ、土地利用と関連付けて考える。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	1 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・前回は世田谷区の地図を見て、高さの違いを調べた。 ・高さの違いはあまりなく、大きな多摩川が流れていることがわかった。 ・場所によって畠が多かったり、住宅街が多かったり、お店が多かったりと全然違った。 ・今日は交通について学んでいく。 ○出かけるときの様子を思い出し、めあてをつかむ。【ペア】 <ul style="list-style-type: none"> ・いつも車で出かけるときは甲州街道を使っている。 ・よく乗る電車は京王線。 	<p>★学習問題掲示</p> <p>★生活経験を想起させる。</p>
調べ・考える	2 20 分	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてに対して予想を立てる【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区に走っている電車は京王線。 ・世田谷区は広いので、たくさんの車が通れる大きな道路がある。 ○世田谷区の交通図や写真資料を調べる。【個別】 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路が何本もある。 ・京王線の他に小田急線や世田谷線、東急田園都市線も走っている。 ・電車は東西、大きな道路は南北に走っている。 ○わかったことをまとめ。【ペア】 	<p>■京王線写真</p> <p>■わたしたちの世田谷区の地図(交通) ■小田急線写真 ■世田谷線写真 ■環八 ■甲州街道 ■環七 ■世田谷道路</p> <p>◎ 世田谷区の交通の広がりについて必要な情報を集め、理解している。【知・技-①】(ノート)</p>
	3 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の学習と関連付けて土地利用と交通の関係について考える【ペア】→【班】 <ul style="list-style-type: none"> ・二子玉川駅のあたりはたくさんの電車の路線が入り組んでいて、大きな道路も交わっている。そのため、大きなビルや商店街がある。 ・世田谷はおおきな道路と電車の路線が入り組んでいて、その場所によって使われ方が違う。 	<p>◎ 世田谷区の交通の広がりと土地利用についてを関連づけて考え、表現している。【思・判・表-①】(ノート)</p>
まとめる	4 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめを書く。【ペア】→【個人】→【一斉】 <p>まとめ</p> <p>世田谷区は大きな道路が南北と東西を結んでいる。電車は主に京王線と小田急線が走っていて、東西を結んでいる。その交通の様子と土地利用はつながりがある。</p> ○今の学びの位置を確認し、ふりかえりを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・今日は世田谷区の交通について学んだ。次回は公共交通について。よくわからないから、しっかり調べたい。 	<p>★発達段階も含め、一人で考えたり、まとめたりすることが難しい児童も多いのでペアで今日の学びをつぶやいてからまとめるようにさせる。</p> <p>★本時が単元の中のどの位置なのかを確認することにより、自ら学ぶ意識を高めさせるようにする。</p>

(1) ねらい

- ・地図や写真資料を読み取って公共施設や区役所の働きを調べ、理解する。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料（種類） ◎評価規準【観点】（評価方法）
つかむ	10分	<p>○前時までの学習を振り返る【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区の交通について学んだ。 ・世田谷区は大きな道路が南北と東西を結んでいた。 ・電車は主に京王線と小田急線が走っていて、東西を結んでいた。 ・土地の高さや交通と土地の利用はつながりがあった。 ・今日は公共施設について学ぶ。 <p>○公共施設の定義をつかみ、分布図からめあてをつかむ【ペア】</p> <p>T「この丸は公共施設があるところです。公共施設にはどのようなところがありますか。また、なにをしているところですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 ・図書館 ・区役所 ・BOP ・児童館 ・区役所や区民センターはよくわからない。 <p>T「みんながよくわからない区役所や区民センター。どうしてそんなにたくさんあるのだろう。何をしているところなのだろう。」</p>	<p>★学習したことを想起させ、学習計画を児童が自分たちで確認できるようにする。</p> <p>■学習問題掲示</p> <p>■公共施設マップ（世田谷区公共施設白書 2017）</p> <p>★資料を十分に確認させるようにする。</p> <p>★前小単元の「学校の周りの様子」を想起させ、関連付ける。</p> <p>■烏山区民センターや区役所、出張所の写真</p> <p>★たくさんあることに注目させ、区民にとって必要なところであることを認識させる。</p>
		<p>めあて 区役所や区民センターなどの場所は何をしているところなのだろう。</p>	
調べ・考える	15分	<p>○めあてに対して予想を立てる【一斉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を守っている。 ・みんなの集まる場所になっている。 <p>○区民センターや区役所などの働きを調べる。【個別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所では町に人々の生活に関係することをおこなっている。 ・公共施設は区役所が運営しているところがある。 <p>○わかったことをまとめめる。【ペア】</p>	<p>★人的環境（カリマネ）を整え、自分が調べたいことを進んで聞けるようにする。</p> <p>■区民センターの職員の方の話</p> <p>■公共施設マップ（世田谷区公共施設白書 2017）</p> <p>■自作資料①（教科書に添付）</p> <p>■自作資料②</p> <p>★必要な児童が自分から前に資料を取りに来て調べたり、聞きたいことを職員の方に聞いたりといった主体的な学びができるように環境を整える。</p>
	10分	<p>○災害シミュレーションから災害時の区役所の働きについて調べる【一斉】</p> <p>T「この地震が学校ではないところで起こったらどこに避難しますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの公園 ・家 ・区民センター ・駅 <p>○区民センターの職員の話を聞き、災害時、避難場所になることについても考える。</p>	<p>■災害放送</p> <p>■区民センターの職員の方の話</p> <p>★公共施設には災害時の避難場所になる働きもあることを職員の方の話でおさえる。</p>
まとめる	10分	<p>○学習のまとめを書く。【ペア】→【個人】→【一斉】</p> <p>まとめ</p> <p>世田谷区には公共施設がたくさんある。その中でも区役所や区民センターは住む人にとって必要なことをそろえていることがわかった。また、災害時には避難所になる。</p> <p>○今の学びの位置を確認し、ふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は世田谷区の区役所について学んだ。次回は古くから残る建物についてだから、よく調べたい。 	<p>★発達段階も含め、一人で考えたり、まとめたりすることが難しい児童も多いのでペアで今日の学びをつぶやいてからまとめるようにさせる。</p> <p>◎区役所の場所と働きについて説明したり、話し合ったりしている。【思・判・表】（ノート・インタビュー）</p>

第6時 (全8時間)

6月26日(水) 3校時

(1) ねらい

- ・古くから残る建造物の様子を調べ、それを管理してきた人の工夫や努力について考える。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	1 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・前回は公共施設について学びました。 ・区役所で働く人から区役所は住んでいる人にとって必要なことを整える場所だと学んだ。 ・緊急時の働きについて聞いた。 ・今日は古くから残る建物について学んでいく。 ○寺町の写真と九品仏の写真を見て、めあてをつかむ【ペア】 <ul style="list-style-type: none"> ・うちの近くにあるお寺だ。 ・前の学習で通りを見学したとき、塀が高くて、お寺が並んでいた。 ・寺町には大仏はなかったので、他にもあるのかな。 	<p>★学習問題掲示</p> <p>■寺町写真 ■九品仏写真</p>
		<p>めあて 世田谷区にはどのような古くから残る建物があり、それらはどう管理しているのだろう。</p>	
調べ・考える	2 15分	<ul style="list-style-type: none"> ○古くから残る建物図を調べ、区内の主な場所を調べる。【個別】 <ul style="list-style-type: none"> ・寺町には12もの寺院がある。 ・九品仏浄真寺が南のほうにある。 ・豪徳寺は駅の名前にもなっている。 ・上町も昔からある名前ようだ。 ○わかったことをまとめ。【ペア】 	<p>■わたしたちの世田谷区の地図(建造物)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物を守るために関わっている人について調べ、その努力と工夫について考える。【個別】→【一斉】 <ul style="list-style-type: none"> ・お寺の人だけではなく、多くの地域に住む人たちが関わっていることが分かった。 ・こんなに多くの人がお寺を守るために動いているとは思わなかった。 	<p>■お寺の人の話 ■住民の方の話</p>
まとめる	4 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめを書く。【ペア】→【個人】→【一斉】 <p>まとめ</p> <p>世田谷区には古くからある建物がいろいろな場所にあり、それらを守ったり、残したりするために地域の人が思いをもって管理している。</p> ○今の学びの位置を確認し、ふりかえりを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・これで調べるべきことはそろったけれど、もう少し詳しく家で調べたい。 ・ガイドマップにしっかりとまとめて、知らない人が見て、分かるようなものにしたい。 	<p>★発達段階も含め、一人で考えたり、まとめたりすることが難しい児童も多いのでペアで今日の学びをつぶやいてからまとめるようにさせる。</p> <p>◎ 世田谷区に古くから残る建造物の分布などをもとに自分たちの区の様子について理解している。【知・技-②】(ノート)</p> <p>★本時が単元の中のどの位置なのかを確認することにより、自ら学ぶ意識を高めさせるようにする。</p>

第7・8時 (全8時間)

6月27日 (木) 5・6校時

(1) ねらい

- ・学習してきたことを生かして、世田谷区のガイドマップを作り、考えを表現する。

(2) 展開

	【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	<p>【一斉】</p> <p>○前時までの学習を振り返る。 ・世田谷区の様々なことについて調べ、様子が分かってきた。</p> <p>○学習問題を確認する。</p> <p>学習問題</p> <p>世田谷区は、どのような様子なのだろう。</p> <p>○めあてを確認する。</p>	<p>■学習問題掲示</p> <p>■学習してきたことのまとめを振り返り、調べてきたことを俯瞰させるようにする。</p> <p>★今日はまとめる時間であることを自分たちで自覚できるようにする。</p> <p>めあて 学習してきたことを元に世田谷区ガイドマップに考えをまとめよう。</p>
考える	<p>○東京都の中での位置を確認した上で、学習問題に対する自分の考えが分かるように、工夫して世田谷区ガイドマップを作る。</p> <p>①世田谷区の地形・土地利用の様子 ②世田谷区の交通 ③公共施設や区役所の働き ④世田谷区の古くから残る建造物 ⑤これらをまとめて「世田谷区はどのような様子なのか」に対する自分の考えを表現する。</p>	<p>■調べてきたノート、掲示物、資料 ■私たちの東京都の地図</p> <p>○ 都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などをもとに自分たちの区の様子について理解している。【知・技-②】(ノート)</p>
まとめる	<p>【個人】→【一斉】</p> <p>○学習のまとめを書き、ガイドマップに表現する。</p>	<p>★2学期に社会科見学を行うことを伝え、資料や授業で学んだことを生かせるように振り返りの視点を出すようする。</p> <p>まとめ</p> <p>世田谷区のほとんどは住宅である。そのため、お店もたくさんあり、住んでいる人も多い。みんなが使う公共施設もいろいろな場所にある。自分の小学校の周りと同じようなところもあれば、違うところもある。世田谷区にはいろいろな場所があるが、それらと調べてきたことには関係があることがわかった。私は世田谷区についてまだまだ知らないことがたくさんあったので、社会科見学などで実際に見て回ったり、調べてみたりしていきたい。</p>
	<p>【ペア】→【一斉】</p> <p>○ガイドマップを交流し、世田谷区のよさについて話し合う。</p> <p>・私は多くの人にとって住みやすいのが世田谷区の良いところだから、たくさんの人が住んでいるのだと思う。これからもそうなっていくように自分もできることをしたい。</p>	<p>★表現の方法がひとによって違うことに着目し、様々な表現を取り入れられるように助言する。</p> <p>★単元が終わっても興味や問い合わせを持ち続けられるように、学習しなかった視点について話すことで余韻を持って単元を終了するようにする。</p>